学校教育目標　「郷土を愛し　心豊かで　たくましく生きる子」の育成

きぬがさ

東近江市立能登川西小学校
学校だより　No.17
令和２年(2020年)２月３日

４０年目の炊飯器

武村　節子

直木賞を受賞された川越宗一さんの寄稿の受賞後のコメントが、「傷だらけの炊飯器」という見出しで書かれていました。２０歳になる年に、京都での一人暮らしを始めるにあったって買った炊飯器が、結婚して４１歳なっても、まだ現役の炊飯器だというのです。買い換えのタイミングを逃してという言い訳でしたが、実際は買い換えたくないのであろうと思えました。わたしにも同様の炊飯器があります。同じく２０歳になる年に、やはり一人暮らしをするにあたって親に買ってもらった炊飯器で、結婚後も便利で、その３合炊きの炊飯器にはちょくちょくお世話になりました。その４０年前の NEC の炊飯器と同じ型の５合炊き炊飯器を、アグネス・チャンさんが、やはり便利で捨てずに使っているという新聞記事があり、なぜかほっとしました。アグネス・チャンさんを知っている世代は限られた世代ですが、昭和の物がわたしにはやはり馴染むようです。

長期的に見ると、才能よりも情熱と粘り強さからなる「やり抜く力」が成功の鍵

さて、時代は、グローバル化の多様性と ICT の可能性の波に飲み込まれ、予測不能な社会が待ち受けています。この子どもたちにどんな力をつけさせてやればよいか・・・。

知識や技能はもちろんですが、人生でいつか来る挫折から、いかに立ち上がるか、人とつながりしっかり手をつないで乗り越えられるか。わたしたち教員が、温かな気持ちと広い心をもって、子どもたちに任せて、信じて、認めることで、自らの力で考え実践できる子どもを育てていきたいと思っています。教育は手品ではありませんから、失敗しても何度でも、誠実に関係を築くこと。そこに教育の原点があると思っています。

同窓会報にも書きましたが、日本の学校教育の良いところは、学力だけでなく掃除や感謝、人に迷惑をかけないなど、このような能力を高めるための仕組みが古くから備わっていて教員の情熱も色濃く存在し、子どもたちの資質を高めようとしてきたことです。この良さが個々の子どもたちの能力を引き上げる基盤にないと、学力を向上させることはできないと思います。人を育てる基盤として、また、学力に加える指標として昔から大切だと言われてきた「やり抜く力」が、この能登川西小学校にも必要な力であると、「やりぬく力の強化」を目標に教育に取り組んできました。しかしそのためには平均やパーセントを正確に出す基礎学力はもちろん必要です。まずは、子どもたちの基礎学力の向上に力を入れていきたいと思います。保護者の皆さまのご協力を今後ともよろしくお願いいたします。

【写真は、なわとびを練習する子どもたちです。失敗しても、何度も練習すると上達することを学んでほしいと思っています。】

はつらつ　ほがらか　やりぬく力

☆暗唱チャレンジ 1/14～2/7

３学期も校長室で暗唱をしています。自分の学年のチャレンジ１と２を合格したら、ほかの学年の暗唱へと、どんどん覚えて言える子が増えてきました。

☆給食カルタ大会　1/21～24

給食委員会が、昼休みにカルタ大会を計画しました。初めての取組に盛り上がりました。

☆給食感謝週間　1/21～25

【3 人の方と交流給食】　【お礼のよせがき】

給食でいつもお世話になっている方へのお礼と、食べ物への感謝を込めて、栄養士さんと労務員さんお二人を、教室に招いて一緒に給食を食べました。各クラスからは気持ちのこもったプレゼントも渡しました。

☆6 年生　命の学習 1/29

【思春期はさなぎの時代】　【胎児の大きさを知りました】

【話の最後まで抱いていました】【赤ちゃんの正しい抱き方】

今年は、彦根市の吉村真弓助産師さんに講師をお願いしました。今は、幼虫から成虫に替わるさなぎ時代であることや、赤ちゃんは、おなかの中で 38 億年の進化を経ていること。自分が自分として生まれる確率は 250 兆分の 1 であることなど、奇跡的な生命誕生の神秘について学びました。

☆1 年生　むかしあそび交流 1/22

【おりがみ】　【けんだま】　【だるまおとし】

能登川地区老人クラブ１６名の方々に講師をお願いして、こま、だるまおとし、竹とんぼ、けんだま、あやとり、おてだま、を一緒に体験しながら教えていただきました。地域の方と交流することで世界も広がります。やさしく親切に教えていただき、ほっとする温かな時間でした。

☆３年生　昔の暮らし体験 1/18

【七輪でもちやき】　【火のしでアイロン】　【こたつ体験とお話】

社会科で能登川博物館に行きました。火のし体験、こたつ体験、アイロンと回転式あんかを体験しました。七輪での火起こしでお餅を焼き、消し炭を火鉢、火のし、こたつ、あんかに使いました。和室では、火打ち石や明かり見学をしました。

☆５年生　ヨシ学習 1/22

【1 本のヨシをきれいにして】【よしずを編む】【完成記念写真】

淡海環境保全財団のヨシ環境学習推進事業の一環で琵琶湖の環境保全について学んでいます。今回は、12 月に刈り取ったヨシを使って、よしずを作りました。できあがったよしずは、教室ベランダに置いてあります。今、1 年間の総合的な学習のまとめをしています。

☆4･5 年生　情報モラル教育 1/31

教育委員会の前川指導主事を講師に、スマホやゲームとの正しいつきあい方を教えていただきました。4 年生の授業では、サイバーポリスが見張っていて決して匿名でないこと。ゲーム依存になること。アップした写真には位置情報が組み込まれていることなど教えていただきました。

また、5 年生対象の学習では、書き込んだ悪口は、面接時や、就職や結婚など人生における大事な場面で出てくること、そして、ゲーム障害という病気があることを学びました。ご家庭でも話し合っていただけたらと思います。